

第117回不正対策研究部会	
開催：	平成28年3月18日（金）午後1時～午後3時 PCSA会議室にて
出席人数：	正部員9名、日遊協参加者1名、メーカー参加者1名、合計11名
出席者リスト：	リーダー
	松本 浩 株式会社ヒカリシステム
	サブリーダー
	市川 忍 株式会社ダイナム
	正部員
	倉沢 隆志 株式会社ニラク
	寺島 宗幸 株式会社ニラク
	大野 卓生 夢コーポレーション株式会社
	梅野 唯行 株式会社合田観光商事
	上野 誠 株式会社ヒカリシステム
	徳永 正宣 株式会社チアエンタープライズ
	山本 譲 株式会社三永
	一般社団法人日本遊技関連事業協会（日遊協） 参加者
	1名 株式会社マルハン
	遊技機メーカー 参加者
大庭 義樹 様 株式会社ユニバーサルエンターテインメント	
討議事項：	1) ゴト被害アンケート 2月について
	セルゴト、ショートゴト、持ち込みクレマン、糸付き玉、油ゴト、ドツキ、
	サンドゴト、引っ張りゴトなどで、被害件数105件、被害額¥945,941-、警察への
	通報回数が14件、被害届申請が11件、被害届受理が3件となっている。持ち込みや
	レート間移動、原因不明の誤差玉などが地味に大きな金額となっている。又、
	警察からゴトについて鑑定依頼が来た事例が説明された。お客様や従業員の
	携帯が破損する事例では、本体の修理代はともかくデータ消失の補償は
	保険会社が取り扱っていない為に断った経緯が説明された。また、ホール
	備え付けの携帯充電器に免責事項を必ず記載する事、携帯の破損に関して
	スタッフへの徹底や台間POPでの告知、必要とあらば遊技約款への追記も必要だと
	意見が出た。
	2) 内部不正報告について
以前に報告のあった内部不正の裁判が終わり判決が出た旨が報告された。	
問われた罪は、器物損壊と建造物侵入罪だった。また、ゴトに使用した	
ぶら下がり(ゴト器具)の入手方法、価格など判明している範囲で報告された。	
3) 最新ゴト情報について	
メーカーA社製スロットのサブ不正中継基板の検査について情報を交換した。	
また、4月1日から実施される製造業者遊技機流通健全化制度の実施対応準備の	
各社情報、特定部品の取り扱い、予測される案件数、点検費用などについて	
情報を交換した。	
次回開催	平成28年4月15日（金）
	第118回不正対策研究部会
	午後1時～3時
	第35回不正対策勉強会
	午後3時～5時
	PCSA会議室にて